和歌山　人・もの・地域

和

nagomi

Vol.61
2026

Healing Places
癒しの地 和歌山

知事対談 山崎直子×宮﨑 泉

【聖地リゾート】Artistic Wakayama
南方熊楠記念館

【わかやまFUNBASE】株式会社いとうともひさ

【和歌山一番星アワード】デラックスケーキ

【世界から見る和歌山の魅力】George Hamilton

白亜の巨大な石灰岩と、紺碧の海のコントラストが美しい白崎海岸。

Healing Places
癒しの地 和歌山

祈りが息づく緑深い山々、
雨が人里を潤し、川は澱みなく流れ、
海にそそぎ込み、水面が空を映す。
聖地へと向かう道のりと、
歴史と神仏が宿る湯けむり。
青々と輝く海と空の下、
そこで生きる人々の暮らし。
何気ない景色にも癒される、
そう、和歌山は癒しの聖地なのだ。

江戸時代初期に造られた和歌山城内の西之丸庭園（紅葉渓庭園）。



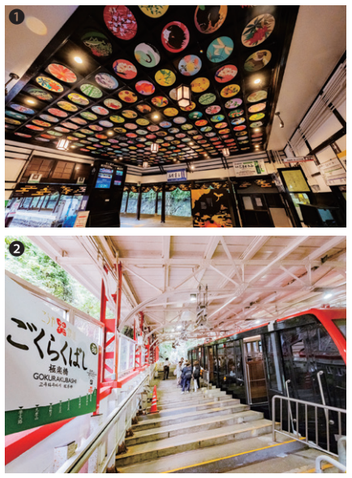
空海が開いた天空の聖地

千年の祈り、今もなお人々の心を導く

和歌山県の北東部、千メートル級の峰々に囲まれた天空の宗教都市、高野山。弘法大師空海が１２００年以上前に開いた真言密教の修行道場である。空海は高野山を開くにあたり、壇上伽藍の整備から始めたという。壇上には根本大塔をはじめとする堂塔が配置され、曼荼羅の世界を立体的に表現した。そして、高野山におけるもう一つの聖域が、空海が今も瞑想を続けているとされる奥之院だ。樹齢数百年の大杉と、20万基以上ともいわれる供養塔や墓石が連なる空間に癒される。しかし近代に至るまで高野山は、参詣道である町石道を歩いて登る以外に容易には訪れることのできない場所だった。

深紅を基調とした車体に、車両ごとに異なる趣をまとった4両編成の列車が、高野山を目指してなんば駅を発車する。癒やしに満ちた旅へと誘う観光列車〝ＧＲＡＮ　天空〟だ。４号車入口付近の仕切りには九度山の真田紐、テーブルや椅子には紀州材を用いるなど、車内の随所に和歌山の魅力が息づく。

和泉山脈を越え、橋本駅を過ぎると、急勾配と急カーブが連続する山岳区間に入る。山間の集落や美しい渓谷を眺めながら進むと、列車は極楽橋駅に到着する。駅舎の天井には、高野山ゆかりの動植物や極楽鳥、宝来などを描いた天井画が来訪者を迎え入れる。ここからケーブルカーに乗り、ようやく辿り着く先が、天空の聖地、高野山だ。



❶極楽橋駅の天井絵。曼荼羅を彷彿させるような色とデザインに引き込まれる。❷最急勾配約29.4度、高低差約328mを5分で結ぶケーブルカー。

和歌山を感じながら聖地へと誘う、癒しの列車旅









❶GRAN　天空4号車は事前予約が必要（2名～）。上質なソファーで寛ぎながら、変わりゆく景色を楽しむ極上のひとときに癒される。❷外観は深紅色をベースにゴールドの絵柄をあしらった装飾が施されている。アテンダントスタッフの制服はコシノジュンコ氏によるデザイン。❸ワイドビューシートの2号車。テーブルや座席は紀州材を使ったオリジナル。❹4号車で提供される創作料理。地元食材がふんだんに使われ、季節ごとにメニューが異なる。

南海電鉄コールセンター
電話／050-3090-2608
GRAN　天空／なんば駅～極楽橋駅
ケーブルカー／極楽橋駅～高野山駅
https://www.nankai.co.jp/traffic/kankoutrain/grantenku/







❶樹齢数百年を超える大杉が立ち並ぶ奥之院参道。そこは敵も味方などない平和な世界が広がっている。❷参道のあちこちで見かける小さなお地蔵様。お大師様の近くにいたいという、人々の信仰心の表れだ。❸壇上伽藍に建つ根本大塔。塔内中央には大日如来像が安置され、内部もまた曼荼羅の世界を表現している。❹高野山の信仰や行事など全ての中枢である総本山金剛峯寺。

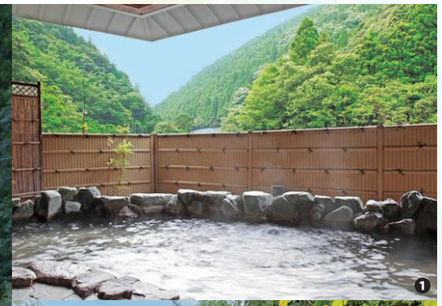
高野山真言宗
総本山金剛峯寺
住所／和歌山県伊都郡高野町高野山132
電話／0736-56-2011

山の温泉・龍神温泉　海の温泉・白浜温泉
神秘と癒しに包まれる和歌山の温泉


❶熊野三所神社から鳥居越しに白良浜を望める。❷崎の湯の源泉である〝行幸源泉〟。背景に見えるのが鉛山湾と白良浜。


水平線まで視界を遮るものがない崎の湯。天然のインフィニティ温泉だ。


日高川沿いに建てられた龍神温泉元湯。他にも複数の温泉施設や宿泊施設が立ち並ぶ。


❶源泉100%の共同浴場元湯。半露天の外湯は岩風呂、内風呂の浴槽に龍神村産の檜を使用している。❷元湯近くにある温泉寺。弘仁年間に弘法大師空海が薬師瑠璃光如来を安置したという伝承が残る古刹。のちに明算という僧によって薬師堂が再建され、温泉寺と名付けられた。


❷

龍神観光協会
住所／和歌山県田辺市龍神村西376
電話／0739-78-2222
https://www.ryujin-kanko.jp

田辺市龍神村の山間、日高川上流の深い山並みに抱かれた龍神温泉は、日本三美人の湯の一つとして知られる秘湯だ。役行者が発見し、後に弘法大師空海が難陀龍王のお告げによって広めたという伝承も残されている。江戸時代には紀州藩初代藩主の徳川頼宣がたいへん気に入り、藩費を投じて保護・整備。保養所も建設し温泉地として発展した。清流に沿って旅館が軒を連ね、夜になると川面に旅館の明かりが映り込み、今も往時の情緒を彷彿させる。

一方、和歌山を代表する海のリゾート地、白浜にあるのは、日本三古湯の一つに数えられる白浜温泉だ。〝日本書紀〟や〝万葉集〟には〝紀温湯〟や〝牟婁温湯〟と記された風雅な温泉である。孝徳天皇の皇子である有間皇子が逗留し、翌年、斉明天皇が行幸し、後白河法皇などは熊野詣の際に沐浴したことでも知られる。なかでも崎の湯は万葉の時代から続く、今も現存する唯一の湯壺で、当時の上流階級の人々も旅の疲れを癒したことだろう。自然の浸食によって生まれた露天風呂に身を沈め、目の前に広がる太平洋を眺めながら、絶え間ない波音と豪快な波しぶきを楽しむ。大自然と一体となるような開放感に、心と身体は癒されていく。

効能も趣も異なる、和歌山の山あいの温泉と海の温泉。湯に身をゆだね空を眺め葉擦れの音に風を感じ、周囲の景色との一体感を覚える。和歌山の温泉には、それぞれに異なった癒しの物語が刻まれている。

崎の湯
住所／和歌山県西牟婁郡白浜町1668
電話／0739-42-3016

南紀白浜観光協会
住所／和歌山県西牟婁郡白浜町1384-57
電話／0739-43-3201
https://www.nankishirahama.jp


円月島近くにある御船足湯。白浜には牟婁の湯などの内風呂から足湯、ホテルの日帰り温泉など、多くの温泉施設がある。

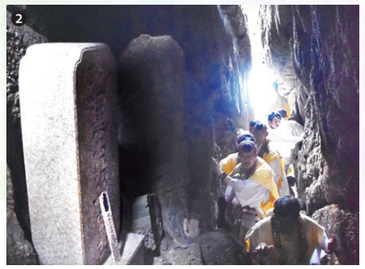
加太から望む葛城修験の出発点

生命力と癒しに満ちたわかやまブルー

太古からの奇跡、白崎海岸

海の向こうの観音浄土を目指す那智の浜









❶加太にある淡嶋神社。医薬の神様をお祀りし女性の病気回復や安産・子授けなどに霊験あらたかといわれている。❷友ヶ島にある序品窟。修験道の聖地「葛城修験」の第一番経塚である。注意していないと見逃してしまうほど入り口は狭い。（現在虎島に渡る事はできません）❸白崎海洋公園にある展望台。雄大な景色を堪能できる。❹那智勝浦町にある補陀洛山寺境内に展示されている補陀落渡海船。絵図や文献などをもとに1993年に復元された。

和歌山市の西端に位置する、風光明媚な加太。歴史ある淡嶋神社や温泉があり、鯛をはじめ新鮮な魚介が水揚げされる漁師町としても知られている。青く美しい紀淡海峡の先に、ぽっかりと浮かぶのが友ヶ島だ。古事記や日本書紀にも登場する、伝説と歴史に彩られた無人島で、加太港から船で渡ることができる。黒船来航を機に大阪湾を守る要衝とされ、第二次世界大戦が終わるまで一般の立ち入りが禁じられていた島内には、今も旧日本軍の砲台跡などが残る。また、役行者が開いた葛城修験の第一の霊場がある地であり、役行者にまつわる祠堂なども残されている。悠久の歴史に思いを馳せながら、穏やかな島の風景に心が癒されていく。

由良町の白崎海岸は、〝日本のエーゲ海〟とも呼ばれる景勝地。真っ白な石灰岩は約2億5000万年前に形成された地層で、地殻変動によって隆起し、青い海との美しいコントラストを生み出した。長い年月をかけて刻まれた、地球規模の大きな変化。その雄大な景観に、自然の神秘と生命の力強さを感じる。

そして、日本人の信仰心に深く触れるのが、補陀落渡海が行われた那智の浜。穏やかな海が広がる今の風景からは想像しにくいが、補陀落渡海とは、わずかな水や食料を積んだ小舟で、水平線の彼方にある観音浄土を目指す決死の捨身行であった。

和歌山の景色を彩る、青い空と海。その間に遠く伸びる一筋の水平線。空と海が織りなす、癒しに満ちた〝わかやまブルー〟。視界いっぱいに広がる美しい風景に、心がゆっくりとほどけていく。

和歌山で癒される五つの感覚

穏やかな気候に育てられた豊かな森。
川は山を下り海に注ぐ。
そこで暮らす人々が産業を造り、
文化と歴史を紡ぎ出す。
五感で感じる和歌山には、
人々の工夫と優しさが満ちている。

嗅覚 Scent



ぶどう山椒

柑橘を思わせる爽やかで瑞々しい香りが特徴のぶどう山椒。和歌山県有田川町が発祥で、今も全国の約7割を生産している。「緑のダイヤ」とも呼ばれ、辛味が強く、香り高い山椒界の最高級品。

篠畑農園
住所：和歌山県有田郡有田川町日物川339
電話：070-8463-3440



篠畑農園で新しくデザインされたパッケージ。ぶどう山椒だけでなく、アレンジした商品も開発販売。

聴覚 Hearing



全方位スピーカー Kaguya

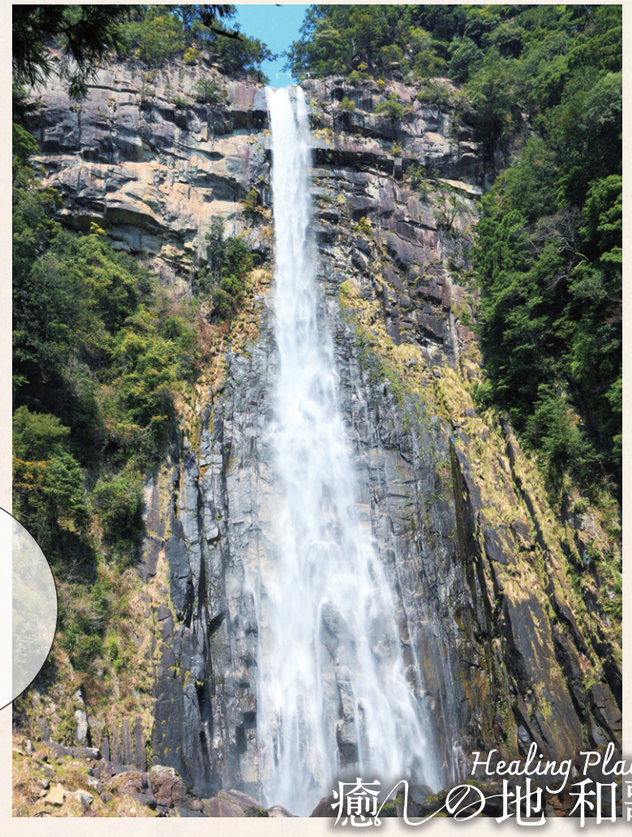
竹の割れやすさを克服し、しなやかさと強度を保つため乾留竹を筐体に使用したスピーカー。使用する竹も和歌山産にこだわる。360度全ての方向に均一に音を放つので、音に包み込まれるような立体的な音場を体感できる。

ウメダ電器
住所：和歌山県和歌山市坊主丁10
電話：073-422-1263



職人が手作業で仕上げるため、月に1台ほどしか生産されない希少な商品。

視覚 Sight



那智の滝

那智原始林の緑深い山肌を割り、一筋の白い水流が轟音とともに一気に流れ落ちる。日本一の落差133メートルを誇る。荘厳な滝壺へと吸い込まれていく圧倒的な景観は、まさに神々しい絶景で、見るものの記憶に深く残る。

飛瀧神社
住所：和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山1
電話：0735-55-0321（熊野那智大社）

味覚 Taste

原酒梅酒

日本一の梅の里・みなべ町の自社農園で育った完熟南高梅のみを使用し、一切加水せずにつくられる原酒梅酒。数種の原酒をブレンドし、果肉本来の芳醇な香りと豊かな旨みを感じる深い味わい。

株式会社東農園（五代庵）
住所：和歌山県日高郡みなべ町東本庄836－1
電話：0739-74-2487



日本を代表する〝南高梅〟は、大粒で皮が薄く柔らかい。



触覚 Touch

Healing Places
癒しの地 和歌山

YETI（イエティ）

江戸時代から織物産業が栄えた高野口町で、一つひとつ手作業で作られる愛らしい存在。世界に認められたエコファーならではのもふもふとした極上の手触り。本物のような毛並みに触れるたびに癒される。ヴィンテージボタンの目がチャーミング。

杉村繊維工業株式会社
住所：和歌山県橋本市高野口町名倉619
電話：0736-43-0660



高野口のエコファーは、世界のハイブランドからも求められる最上級の品質。





知事対談

山崎直子×宮﨑 泉

公益財団法人 日本宇宙少年団理事長

和歌山県知事

宇宙から見つめた地球の輝き 和歌山で育む次世代の挑戦

スペースシャトルから地球を見つめた、宇宙飛行士の山崎直子さん。
特別な存在は、宇宙ではなく地球だと感じた。
宇宙と地球をつなぐ、民間小型ロケット発射場
〝スペースポート紀伊〟を擁する和歌山県。
この地で実践されている先進的な宇宙教育とその未来とは。



宮﨑知事（以下宮﨑）●本日は宇宙飛行士であり、公益財団法人日本宇宙少年団（ＹＡＣ）の理事長である山崎直子さんに、和歌山と宇宙、そして宇宙教育をテーマにお話を伺いたいと思います。まずは山崎さんがＪＡＸＡに入り、宇宙飛行士を目指したきっかけを教えてください。

山崎直子（以下山崎）●幼少期の頃、「宇宙戦艦ヤマト」や「銀河鉄道９９９」といった松本零士先生のＳＦアニメが非常に流行っていて、大人になったらみんな宇宙に行けるものだと思っていて、純粋に宇宙そのものに興味を持っていました。東京大学に在学していた頃からようやく日本人の宇宙飛行士も選抜されはじめ、私もなれたらいいなと思うようになりました。大学卒業後はエンジニアとしてＪＡＸＡの筑波宇宙センターで国際宇宙ステーションの日本の実験棟〝きぼう〟の開発などに携わりました。その後、宇宙飛行士の候補者となり様々な訓練を経て、２０１０年にスペースシャトルに乗り、国際宇宙ステーションの組み立てと補給ミッションに参加しました。

宮﨑●ＪＡＸＡでの業務や、さらなる高みを目指しての宇宙飛行士への挑戦は、想像を絶する過酷な訓練が伴うと思います。

山崎●訓練は、長い年月がかかります。宇宙飛行士に選ばれたことがゴールではなく、そこからがスタート。私は宇宙に行くまで11年という訓練期間がありましたが、アメリカやロシア、ヨーロッパ、カナダを点々としながら行います。英語やロシア語といった語学から、飛行機の操縦やロボットアームの練習、宇宙服を着用し、水中での船外活動の練習まで、様々な訓練を行いました。また自然の中の訓練では、ロッキー山脈の中で10日間１チーム10人で過ごしました。その期間中、新人だったとしても全員が１度はリーダー役を経験します。誰もがリーダー、またはそれを支えるフォロワーになる。両方の役割を担うという訓練をやりました。

宮﨑●アポロ計画の宇宙飛行士というと、心身ともに鍛え上げられたパイロットというイメージがありました。アメリカでも最初は女性が少なかったんですよね。

山崎●実際に宇宙に行った宇宙飛行士は７００人程度ですが、女性はそのうち15％程度です。今では選ばれる宇宙飛行士は男女半々ぐらいになり、しかもパイロット以外にもエンジニアや医者なども選ばれるようになりました。そういう意味では、色んな人が宇宙に行ける時代になってきたといえます。



想像以上に輝く地球 生命の輝きにも見えた

山崎●国際宇宙ステーションが回っているのは上空４００ｋｍ位ですが、そこまでたったの８分30秒ぐらいなんです。あっという間に到着して、シートベルトを外して窓から外を眺めると、地球が頭上に青く輝いていたのにびっくりしました。地上４００ｋｍまで上がって来ているのに、地球が上に見えて、自分がむしろ沈んでいるというような感覚で、これが無重力かと実感しました。真っ暗な宇宙空間の中で、太陽の光を受けた地球が想像以上に眩しくキラキラと輝いていました。エンジンがストップすると、一気に宇宙船の中が無重力状態になります。すると床に溜まっていた埃などが一気に舞い上がり、それらが朝日を受けてキラキラと光ります。その様子がとても幻想的で、深く印象に残っています。

宮﨑●地球は宇宙のオアシスっていう言い方もされますが、やっぱり宇宙は真っ暗で、地球だけが輝いているんですね。

山崎●そうですね。光の対比と言うか、それがとても美しく、地球自身が生きているような、生命の輝きのように見えました。宇宙に行くまでは、宇宙の方が特別な場所でしたが、宇宙から地球を見ると、地球の方がむしろ憧れの場所というか、特別な場所に思えてきたんです。考え方が１８０度変わったような気がします。

宮﨑●アポロ15号のジェームズ・アーウィンという宇宙飛行士は、引退後、宗教伝道師になったそうです。それほど、宇宙での経験は人の心に影響をあたえるんですね。地球へ戻って来てから山崎さん自身の中で変化はありましたか？

山崎●宇宙から地球に戻ってきた時に驚いたのは、重力の存在です。頭が漬物石のようにフラフラしますし、紙１枚でも重いんですよ。そんな重力に驚きながら外に出ていた時、風が吹いてきて、その時の空気の美味しさや緑の香り、土の感触や水の美味しさ一つ一つが本当にありがたいと思いました。



2026年3月、カイロスロケット3号機打上げの様子

普段当たり前と思っていることが、なんてありがたいんだろう、貴重なんだろうと。改めて、この地球が愛しいと思い、地球を守っていかないといけないなと思いました。

ＹＡＣ〝スペースキャンプinわかやま〟

宮﨑●山崎さんは、宇宙飛行士としての経験も生かされて、ＹＡＣで子供たちに宇宙教育を実施されています。そのＹＡＣが40周年を迎えるんですね。

山崎●ＹＡＣは全国に分団があり、そこでは宇宙のことや地球のこと、科学の学習に加え、年齢を越えた縦の繋がりや様々な横の繋がりを大事にしています。実際に自然に触れ合ったり、様々な体験を通じて、宇宙の次世代を担う子供たちが育って欲しいと思っています。今年の７月にはＹＡＣ40周年特別プログラムである〝スペースキャンプinわかやま〟を串本町で開催しました。南紀熊野ジオパークでは、地質のことを学びました。実は私たち宇宙飛行士も、将来、月や火星に行くことを考えて地質調査の訓練を受けています。串本海中公園では、展望塔を宇宙船に見立て、宇宙飛行士と地上管制官の交信で使われるフォネティックコード（※）を使って、海中で見つけた魚をトランシーバーで伝える訓練体験も行いました。これは実際に我々が行う宇宙船と地

※無線電話や音声通話において、アルファベットや数字の聞き間違いを防ぐために定められた、世界共通の言い換えルール
（例：アルファベット「A」＝コード Alpha フォネティック発音 AL ー FAH（アルファ））



知事対談

山崎直子×宮﨑　泉

公益財団法人
日本宇宙少年団理事長
やまざきなおこ

和歌山県知事



1970年千葉県松戸市生まれ。東京大学航空宇宙工学修士課程修了後、宇宙開発事業団（現JAXA）に入社。2010年、スペースシャトル・ディスカバリーで宇宙に行き、物資移送責任者としての物資移送作業全体の取りまとめや、国際宇宙ステーションのロボットアームの操作などを担当した。

スペースポート紀伊の挑戦 実践的な宇宙教育

宮﨑●和歌山県には、ロケット発射場〝スペースポート紀伊〟がありますが、それ以外にも豊かな自然や文化・歴史もあります。それらを宇宙教育に生かしていきたいと思っています。県立串本古座高校には、宇宙探究コースという宇宙について学べるコースがあります。超小型人工衛星の第一人者である中須賀教授や宇宙関連企業の方々にも参加いただき検討会を重ね、練りに練ったカリキュラムを作っていただきました。そしてＪＡＸＡ関係でずっと仕事をされていた方を県職員として採用し、宇宙探究コースの担当教員として活躍してもらっています。そのおかげか宇宙甲子園２０２５の近畿地方大会缶サット部門で準優勝し、全国大会にも出場しました。また、県立田辺工業高校では授業の中で人工衛星を作ろうという取り組みをしています。子供たちがやる気になって生き生きと勉強している姿が凄くいいですよね。また互いに半島に位置し、みかんとオレンジという関係もあり、和歌山県と米国フロリダ州は姉妹県州提携を結んでいます。昨年、青少年交流の一環で、和歌山の高校生と一緒にフロリダに行き、向こうの学生たちと交流しました。その時にケネディ宇宙センターに行って、そこに来ていた宇宙関連企業のＣＥＯに「和歌山県にもスペースポートがあり、そこから小型ロケットを飛ばそうとしています」って話をしたんですよ。するとそのＣＥＯからは「挑戦すること自体が素晴らしいことだ。簡単に宇宙に行けるものではない。成功するまで応援しますので頑張って下さい」とお言葉をいただきました。

山崎●世界的に人工衛星はもっと必要とされていますので、和歌山県のロケット打上げ成功は本当に期待されていると思います。私ももちろん応援しています。

宮﨑●和歌山県を宇宙の基地にしたいなと思っています。実は、この度、国の〝ロケット・射場に関する戦略産業クラスター計画〟で、串本町・那智勝浦町を中心とした和歌山県全域が、大規模投資、規制緩和、人材育成等を検討・推進する方針の対象区域に選ばれるなど、非常にいい風向きになっています。最後に和歌山県へのメッセージをお願いします。

山崎●子どもの頃を振り返ってみると、私自身、科学館やプラネタリウムなど、宇宙に関わる色々なことに触れたことが、今に繋がっているような気がします。ロケットの打上げは大きな挑戦であり、毎回新しい物語があり、いつも感動しています。和歌山のスペースポート紀伊から世界中のたくさんの人工衛星を載せたロケットが打ち上げられ、そこから人が育っていくことを心よりお祈りしています。また、宇宙少年団としても引き続き、宇宙教育を軸に一緒に盛り上げていけたらと思いますので、ぜひよろしくお願いします。

宮﨑●宇宙教育を通じて、和歌山と宇宙、それから宇宙から未来へ、和歌山がこれからも発展しくことを目指していきたいと思っていますので、山崎さんとＹＡＣのご協力をこれからもよろしくお願いします。

「YouTube和歌山県公式チャンネル」対談動画配信中
https://www.youtube.com/@PrefWakayama

アートが散りばめられた博物館

南方熊楠記念館

住所／和歌山県西牟婁郡白浜町3601-1
電話／0739-42-2872



和歌山生まれで世界的博物学者である南方熊楠。その膨大な自筆資料や標本を展示公開しているのが南方熊楠記念館だ。エントランスで来館者を迎えるのは、屋上からの陽光を優しく届ける巨大なランタン。それはまるで大きな植物のようであり、緑と白のリボンには、熊楠が書き写した文字やスケッチがプリントされている。曲線で構成され有機的な形状が周囲の自然に調和し、建物そのものがアーティスティックだ。

漁村に新たな風を！集落再生プロジェクト

【海南市冷水】株式会社いとうともひさ

地域づくりに取り組む人や団体と、和歌山に関わりたい人をつなぐ〝わかやまFUNBASE〟。今回紹介する〝株式会社いとうともひさ〟は、建築設計や空間デザイン、リノベーションを主軸に事業を展開している。代表のいとうともひさんは海南市冷水浦を拠点に、空き家の再生や建築を通じて集落再生に取り組んでいる。

大阪府出身のいとうさんは、大工修行を経て独立。東日本大震災の被災地など各地で大工仕事に携わる〝旅する大工〟として活動してきた。旅の中で出会った冷水浦は、海と山に囲まれ、細い路地が入り組む昔ながらの漁村集落。もともと漁村の空間構成に興味があったいとうさんはこの地に惹かれ2017年に移住。〝Re SHIMIZU-URA PROJECT〟を立ち上げた。

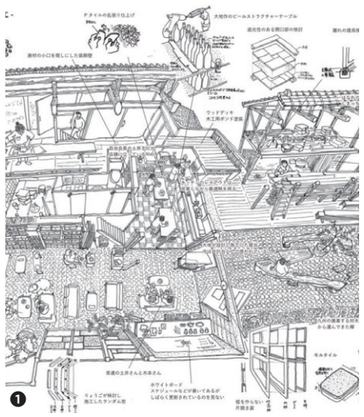
2022年、集落内では約30年ぶりとなる新たな飲食店〝チャイとコーヒーとクラフトビール〟をオープン。地元の漁師が常連となり、祭りの会合にも使われるなど、今では地域内外の人が集う交流拠点となっている。プロジェクトでは、毎年1軒ずつ新たな店を増やし現在は5軒、今後も人々が行き交う集落を目指す。

またいとうさんは同集落の空き家改修を通して、建築や地域との関わりを体験するプログラムを提供している。今回参加したのは、大和大学で建築を学ぶ南野葵衣さん。「体験を通していろいろな人に出会えるのが魅力。刺激をもらえます」と話す。

「楽しい体験だけで終わらず、学生たちの評価も踏まえながら、地域内外の幅広い世代の人々を巻き込み、一緒に地域をつくるという意気込みでやっていきたい」というとうさん。地域の未来を見据え、新たな人を迎え入れる活動を続けていく。



飲食店〝チャイとコーヒーとクラフトビール〟で語り合いうさん（右）と南野さん（左）。世代を超えた交流から、新たなつながりが生まれる。







❶集落再生の計画を説明するパース。❷冷水浦の集落を再現した模型。建築の展覧会「SDレビュー2023」で朝倉賞を受賞した。❶❷どちらも〝チャイとコーヒーとクラフトビール〟2階で見ることができる。❸いとうさんが手がけたお好み焼き店。集落の人たちが集まり、楽しい時間を共有する。

海と路地が織りなす、冷水浦ならではの風景







❶冷水浦駅からほど近い場所にある集落。車も入れないほどの細い路地を進むと店が現れる。❷昔ながらの家々が並ぶ路地の先にある飲食店〝チャイとコーヒーとクラフトビール〟。❸海辺ならではの開放的な景色も魅力の冷水浦。

株式会社いとうともひさ
住所／和歌山県海南市冷水354　電話／073-482-6222

わかやま FUNBASE

2026年に始まった和歌山の新たな取り組み〝わかやまFUNBASE〟。人や地域の魅力を発信し、交流できる楽しい（FUN）拠点（BASE）になるように、本プラットフォームを通じて、わかやまファン（愛好家）創出をめざします。

わかやまFUNBASEはこちら

和歌山
一番星
AWARD

「共感できるストーリー」「独自のこだわり」「未来への可能性」を基準に、特に優れた県産品を選び抜き、全国、さらには世界へと届けていくことを目的とした「和歌山一番星アワード」。第1回準グランプリを受賞したのは田辺市の老舗和菓子店・鈴屋の「デラックスケーキ」。誕生秘話や、長年に渡り愛され続ける理由を紐解きます。



和と洋が見事に融合、100年愛され続ける銘菓

和歌山
一番星
AWARD
準グランプリ
2025

デラックスケーキ

JR紀伊田辺駅前の商店街に店を構える老舗の〝鈴屋〟。昔ながらの和菓子店の佇まいだが、来店者の多くのお目当ての一つが〝デラックスケーキ〟だ。「曽祖父が大正時代に開業しました。とにかくチャレンジ精神が旺盛だったらしく、『洋菓子の時代が来る』と和菓子屋なのに、洋菓子やケーキを次々と作っては店頭で販売していたそうです。その中で、最も人気を集めたのがデラックスケーキで、ついには当店の看板商品となりました」と語るのは4代目の鈴木義済さん。

しっとりとしたカステラ生地の間に、白いんげん豆を使った自家製ジャムをサンド。表面には、開発当時は非常に珍しかったホワイトチョコをコーティング。手の平サイズで、一口頬張るとチョコとジャムが溶け合うリッチな味わいの逸品だ。さらにレトロで可愛いパッケージも〝映える〟とSNSで話題になり、全国の百貨店で販売されるようになった。

また製造時に出る切れ端を集めた「はしっ子」も、知る人ぞ知る人気商品。来店しないと購入できないという希少性から、遠方から求めて来る人も多いのだとか。

製造者／有限会社 鈴屋
住所／和歌山県田辺市湊15-11
電話／0739-22-0436

デラックスケーキについて







❶社長の鈴木一弘さん（左）と義済さん（右）。「伝統の味を未来へ継承したい」と義済さん。❷カットする際に出る〝端〟を集めた人気商品の〝デラックスケーキのはしっ子〟とデラックスケーキのキャラクターがプリントされた保冷バッグ。❸JR紀伊田辺駅から徒歩2分。帰省客や観光客の要望に応え元旦も営業している。

紀伊田辺ってこんな所





❹その名の通り扇のように広がる砂浜が美しい〝扇ヶ浜〟は、波も穏やかで透明度も抜群。夏は海水浴場として、また夕日が美しい絶景スポットとしても、観光客だけでなく地元住民にも親しまれている。❺地元民から「権現さん」として親しまれる闘雞神社。源平合戦に際し、紅白の鶏を戦わせ、源平どちらに付くかを占ったと伝わる。



東京・有楽町にある和歌山県のアンテナショップ。旬の特産品を販売し、中でも和歌山を代表する「梅干し」は100種類以上の品揃え。イートインコーナーではジェラートや梅酒なども楽しめる。

わかやま紀州館
住所／東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館地下1階
電話／03-6269-9434
🕐10:00～19:00
（日曜・祝日は10:00～18:00）

世界から見る和歌山の魅力



❶ジョージさんは、大阪でALTとして働く傍ら、空いた時間を使って農業に取り組んでいる。「夏は放っておくと雑草があっという間に広がるので大変なんです」と笑う。❷「とにかくいろいろ試して、いいものができたら」と話すジョージさんと妻の真美さん。かきやはっさく以外にも、みかんやぶどう、すももやキウイ、南国のフルーツ・フェイジョア、とうがらしなど多彩な作物にチャレンジしている。❸購入した空き家は、趣ある日本家屋の特徴や良さを残しながら改修。自分たちで育てた作物の加工場を設けることも考えている。

九度山でみつけた、地域と自然に心地よくつながる暮らし

アメリカ・シアトル出身のジョージ・ハミルトンさんと、大阪府堺市出身の妻・真美さん。大阪で暮らしていた二人が九度山町に移住したのは2022年。都会の喧騒から離れた暮らしを求めて関西各地で物件を探す中、和歌山県の空き家バンクで農地付きの一軒家に出会い、現地の景色を見て「ここだ！」と購入を決めた。

自然豊かなシアトルで育ったジョージさん。若い頃は都会に憧れたものの、大阪で長く暮らすうちに、再び自然のそばで暮らしたいと思うようになったという。九度山町は、丹生川の清流や山々に囲まれながら、地域の人とのつながりもある。「大阪にも近くて便利だし、付き合いも付かず離れず、ちょうどいいんです」と二人は話す。

引き継いだ農地では、かきやはっさくを中心に、さまざまな作物の栽培に挑戦。二人とも農業はまったくの未経験だったが、近隣の農家やJAに教わりながら、トライ&エラーで楽しんでいるという。

ジョージさんは町の消防団にも入団し、地域にすっかり溶け込んでいる。地域とつながり、自然とともにいきいきと暮らす二人と犬猫二匹。和歌山で見つけた忙しくもスローな暮らしに、笑顔が絶えない。





❹ジョージさんは町の消防団にも所属し、地域の一員として地域住民とも良好な関係を築いている。❺自宅の裏山にあるジョージさんたちのかき山。大阪でも働くジョージさんにとって自宅と農園の近さも、移住地としてここを選んだ理由だという。

今号の「和」題

旬の和歌山情報をお届けします！

南紀熊野ジオパーク

「第１７回日本ジオパーク全国大会」和歌山県開催が決定 この機会に南紀熊野ジオパークへ！





日本ジオパーク全国大会は、ジオパークの取組や意義を広く周知するとともに、各ジオパークとの情報交換を通し、ジオパークの認知度を向上させ、地域全体での活動が活性化されることを目的として、全国各地で毎年開催されています。令和9年の「第17回日本ジオパーク全国大会」は、南紀熊野ジオパークで開催されます。大会期間中は、特産品を扱う物産展やジオパークに関連した体験ブースなどが設けられる予定です。併せて、地域の見どころを巡るツアーも開催いたします。

令和8年3月には、ジオパークガイドが案内する南紀熊野ジオパークの定番ツアーを9コース造成しました。代表的な見どころである橋杭岩（写真❶）や古座川の一枚岩（写真❷）を楽しむコース、熊野古道大門坂から那智の滝を巡るコース、白浜町の千畳敷・三段壁を歩くコースなど、南紀熊野の様々な地域で楽しむことができます。ツアーの参加申込みは随時受け付けております。詳細は、南紀熊野ジオパークのホームページをご覧ください。

この機会にぜひ、南紀熊野ジオパークの魅力を体感してみてはいかがでしょうか。

問い合わせ／南紀熊野ジオパーク推進協議会　電話／0735-67-7100

南紀熊野ジオパークHP



交通アクセス
- ●羽田空港から南紀白浜空港まで約１時間10分
- ●和歌山市まで
  関西国際空港からバスで 約40分
  大阪市内中心部から車で 約1時間

■取材をバックアップします！

和歌山県では、メディア関係の皆様に
取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

お問い合わせ
■和歌山県広報課
TEL. 073-441-2032　FAX. 073-423-9500
e-mail／nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp
■和歌山県観光連盟 和歌山県東京観光センター
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館B1F
TEL. 03-3216-8000　FAX. 03-3216-8002
e-mail／tokyo@wakayama-kanko.or.jp

和歌山県観光連盟フォトライブラリー（写真貸出）
https://www.wakayama-kanko.or.jp/business/photos/index.html

和歌山県PR動画（動画素材貸出）
https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/media/

和-nagomi- バックナンバー
https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/nagomi/

和歌山応援団 求む！

ふるさと和歌山応援寄附

ふるさと納税で、元気なわかやまに。

ふるさと和歌山応援寄附を通じて和歌山県を応援してくださいませんか。
下記３種類の寄附金を受付しています。
●わかやま未来応援型（返礼品なし）
●県産品応援型（返礼品あり）　●教育環境充実型（返礼品なし）
※詳しくは、ふるさと納税サイトをご覧ください。
https://www.pref. wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato

和歌山　人・もの・地域
和 nagomi
2026 vol.61
企画・発行／和歌山県
発 行 日／令和8年11月13日
企画編集／サンケイ広告（株）
制　　作／オフィスグリーン
印　　刷／中和印刷紙器（株）

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

VEGETABLE OIL INK

「和-nagomi-」はリサイクル適性Aランクの材料及び植物油を含有した印刷インキを用いて制作しています。

Made in わかやま

和歌山で生産されたモノ。和歌山で生まれたもの。
海と山と川、そして綺麗な空に恵まれた和歌山には、
こんなにも素敵なモノに溢れている。

キンキンと澄んだ音が響く、極上の白炭

紀州備長炭（きしゅうびんちょうたん）

和歌山県木炭協同組合



和歌山only one

最高級の白炭として知られる〝紀州備長炭〟。打ちつけると金属音がするのは、高硬度の証しであり、長時間安定した火力を誇る燃料だ。原料となる木は、県木のウバメガシ。急峻な山から切り出し長さを切り揃え、隙間なく窯に詰め込む。熱い窯内には〝立て又〟と呼ばれる道具で生木を並べ立てる。火をつけ、炭化が始まると焚き口を閉じ、蒸し焼き状態にする。1週間程経ったころ、温度や煙の色を見極めながら焚き口を徐々に開き、ゆっくりと空気を送り込む。温度が上がると炭が白く輝きだす。その温度は1000度を超えているという。約1日かけて鍛錬作業を行ったあと、ついに窯出しが始まる。高温の炭を〝エブリ〟という道具で掻き出し、素灰をかぶせて一気に消火させる。この素灰により黒い炭は白くなり、白炭と呼ばれる紀州備長炭となる。これらの工程に半月程度かかり、生木およそ4トンで生み出される備長炭は約400キロ。伝統を受け継ぐ炭焼き職人の技と努力の結晶だ。



左の北山増男さんが手にしているのが〝立て又〟。右に立つのが息子の貴彦さん。後継者不足は炭焼き業界でも問題だが、貴彦さんは16年前に父の後を継いだ。また最近では Iターン者による職人も増えつつある。

和歌山県木炭協同組合
住所／和歌山県日高川町山野577-3
電話／0738-53-1358

「和-nagomi-」WEB版がご覧いただけます　和歌山県　なごみ　検索　和歌山県ホームページ　https://www.pref.wakayama.lg.jp/

2026年11月13日発行（年3回発行）
企画・発行／和歌山県 広報課　〒640-8585 和歌山市小松原通1-1　TEL.073-441-2032　E-mail nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp